

みどりとてび

no. 161

2014年(平成26年)

2月20日発行

この樹どんな樹?見に行こう! / ソシンロウバイ
みどり探訪 / 救世軍ブース記念病院 ブースの森
緑の歳時記 / オランダミミナグサ
みどりの窓 / 「みどりのボランティア杉並」会員募集
特集 / 「都市のみどりを守るフォーラム2013」
「落ち葉感謝祭2013」・「山葉名いこいの森」
園芸ワンポイント / ハボタン

この樹どんな樹? 見に行こう!

ソシンロウバイ (素心蠟梅)

立春前の寒い時期に、花を咲かせる数少ない木の一つがロウバイです。まだ芽を出していない落葉樹の中で、ウコン色の花と芳香がひときわ目立ち、雪中四花(※)の一つに数えられます。

原産は中国で、日本へは江戸時代に渡来しました。樹高は2~5mほどの落葉低木で、観賞用に多く植えられています。葉は幅の狭い卵形で、秋になると黄葉し、年末近くまで残っています。

ロウバイの名前は、花の色が蜜蝋に似て、ウメのような花のつき方をするのが由来ですが、ソシンロウバイは、ロウバイのように花芯に赤みを持たないところから、混じりけのないという意味の「素」が付いたなどという説があります。

ソシンロウバイは、善福寺公園など区内の公園で多く見られますが、特に梅里中央公園では、杉並区の「花の名所づくり」事業の一環として、約50本もの木が植えられています。真っ青な空の下、花の少ない時期に咲き揃う姿は、清楚な中にも壮大感も味わえます。

少し早い春を探しに、甘く優しい香りに誘われながら、区内を散策されてはいかがでしょうか。

※ 寒椿、梅、水仙と蠟梅です



ロウバイ



ソシンロウバイ



実

みどり探訪

救世軍ブース記念病院 ブースの森



閑 静な住宅地に小さな森がこんもりと茂っています。豊かな緑の中では、若い母子やお年寄りたちがベンチにのんびりと。区立の公園と思いきや、見渡すところは救世軍ブース記念病院の敷地内。入口には「ブースの森」の名が…。

ここは大正5年、現在の和田一丁目に開設して以来、約100年近く地域とともに歩んできた病院のリハビリ用緑地です。平成13年、病院の全面新築工事を機会に、さらに「優しく親しみやすい、地域に開かれた病院」をめざして、敷地内の緑を開放したのだそうです。広場には、ベンチだけでなく、誰もが利用できるトイレ、飲み物の自動販売機なども設置され、今はここを訪れる人た

ちの「いこいの場」となっています。

見上げると、クロマツ、ケヤキ、スダジイ、ヒマラヤスギなどの立派な大木、目を落とせば、イロハモミジ、オガタマノキ、ウメ、サザンカ、ツバキ、カクレミノ、ナツミカン、バラなどが…。そして病院周囲にはソメイヨシノもたくさん植えられていて、約300坪の広さに花や実が楽しめる多種多様な樹木が植えられています。春の桜満開が見事なのはもちろん、夏は緑陰、秋は紅葉の下でシイの実ひろい、そして冬にはコゲラ、ヤマガラ、シジュウカラ、メジロなどの野鳥も飛来し、四季折々に自然が楽しめる「まちの中の森」といえるでしょう。

この場所を地域に開放した病院では「清潔と安心」をモットーに、毎日定期的に巡回し、ゴミ箱の処理や清掃などを行っているそうです。近隣の保育園の子どもたちが訪れたり、昼時にお弁当を広げる人たちが多く見られるのも頷けます。地域の人たちに愛されるかわいい森。あなたも時にはここでひと休みしてはいかがでしょうか。



▲スダジイの大木

◀誰でも気軽に立ち寄れます
(開園：午前7時～午後5時)

可愛らしいベンチ▶



◀森の中には静かな小径も



緑の歳時記

区内でよく見かける帰化植物

オランダミミナグサ (和蘭耳菜草)

ナデシコ科/ヨーロッパ原産の越年生草本

茎 は直立～斜上して株になり、高さ10～30cmになります。腺毛が多く、さわると粘った感じがします。葉は対生でやや淡緑色です。花は白色の5弁花で、花柄は萼片と同じ長さかまたは短く、密集してつきます。

明治時代に日本に入り、今では日本全土に広がっています。畑や道ばたなどの日当たりの良い所でよく見かけます。葉をネズミの耳に見立て、外国から入ってきたことで、この名前がつけました。

なお、在来のミミナグサは、茎や萼が紫色を帯び、葉は幅が細く、濃い緑色です。花は密集してつかず、花柄はオランダミミナグサより長く、1cm前後あります。しかし、残念ながらオランダミミナグサとは異なり、区内ではほとんど見かけなくなりました。



花弁 萼片

「みどりのボランティア杉並」第10期会員募集！

みどりのボランティア杉並は、地域緑化に関するボランティア活動を始めようとする方の、きっかけの場です。会員は生活者の視点を大切にしながら、仲間と一緒に区内のみどりを守り、増やし、育てる活動を行います。

長寿応援ポイント
「地域貢献活動」
対象事業

■どんな活動をするの？

いこいの森や公園の維持管理、樹名板作り、本紙「みどりとひと」の発行など、みどりに関する活動をしています。「花咲かせ隊」や「公園育て組」と異なり、活動場所が一つではないことが特徴です。

■いつ活動するの？

屋外での活動や話し合いは平日の昼間がほとんどですが、休日に行われる場合もあります。活動の頻度は月3回程度です。

■登録の申し込みは？

●登録資格

区内在住・在勤・在学の方、または区内に活動場所を希望される方で、次に該当する方

◎無報酬で活動できる方

◎みどりに関心を持ちボランティア活動

に理解と意欲のある方

●申込方法

ハガキかファクスで、住所・氏名・連絡先と「みどりのボランティア杉並 参加希望」と書いて、みどり公園課みどりの計画係へ

●締切

平成26年3月10日（必着）

■登録の申込後、活動までの流れは？

①3月末～4月上旬、説明会・登録の案内を送付

②4月中旬に説明会を開催。説明会当日、登録用紙に記入し、登録完了

③4月下旬～5月上旬、活動スタート

登録期間は平成26年4月～28年3月の原則2年間（1回に限り更新ができ、最長4年間登録可）



▲宮前公園で竹垣づくりに挑戦！

問い合わせ先

みどり公園課みどりの計画係

〒166-8570

杉並区阿佐谷南1-15-1

Tel : 03-3312-2111(代表)

Fax : 03-5307-0697

「都市のみどりを守るフォーラム2013」を開催しました

大都市東京の貴重な「みどり」として存在している屋敷林や樹木、農地等を未来へ守り育てていくことをテーマに、みどりについて話し合う「都市のみどりを守るフォーラム2013」を8月10日（土）に座・高円寺（高円寺北2-1-2）で開催しました。第1部では、基調講演として日本花の会主任研究員の和田博幸氏より「歴史と文化、人をつなぐ地域のみどり」をテーマに、杉並区内にある多くの身近なみどりについてお話しいただきました。第2部は、共通する課題を有する杉並区の近隣区市の首長等が国土交通省や東京都と一緒に、未来へつなげていくみどり行政について決意表明を行いました。

当日は、約200名の方が来場され、参加記念として花苗（ペンタス）をプレゼントしました。

「みどりの保全活動について、近隣区市と一緒にいることに感激した」「小さなところからみどりを広げていきたい」などといった感想も寄せいただきました。



▲ペンタス

「落ち葉感謝祭2013」

11月30日（土）に落ち葉感謝祭2013を開催しました。当日は風のない穏やかな天気にも恵まれ、朝9時から中杉通りと管理事務所のある各公園で行われた落ち葉掃きには約260名の方に参加いただきました。

その後、井草森公園では毎年恒例の落ち葉プールやリース作り、どんぐり工作などの催しが行われ、ふかふかの落ち葉プールでは、今年も楽しそうにはしゃいでいる子ども達の姿が多く見られました。



「山葉名いこいの森」が開設しました

「山葉名（やんばな）いこいの森」（上井草4-6-10）が、10月13日に開設しました。面積が約4,277㎡あるこのいこいの森は、区内で1番大きな市民緑地です。

今後は地域の方々と一緒に、区民の皆さんに親しまれる「いこいの森」としていきます。近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



みどりの相談所の先生に聞く



みどりに関する相談は
塚山公園みどりの相談所

☎03-3302-9387

杉並区下高井戸5-23-12

毎週土・日曜日 午前9時～午後4時30分

休所日・年末年始(12/29～1/3)



ハボタン (アブラナ科)

ハボタンは一年草の草花として扱われることが多いですが、実は多年草植物です。

ヨーロッパで観賞用キャベツとして改良され、日本へは江戸時代中期に渡来しました。その後品種改良され、丸葉ハボタン、ちりめんハボタンなど色々な品種が作出されました。

◆苗の選び方

1. 葉数が多く株が良く締まった草姿の良いもの
2. 寒さにあって、良く色づいたもの
3. 新鮮なもの



◆培養土・肥料

水はけの良い、締まりのある用土(赤玉土・小7:腐葉土3)に緩効性化成肥料を少量混ぜておきます。元肥が入っているのでその後の追肥は必要ありません。肥効がいつまでも続くと葉色が悪くなってしまいます。

◆置き場所

葉色の発色を良くするには、屋外の日光が十分当たる、涼しい所で育てます。枯れた下葉は取り除き、風通しを良くします。

また、霜に合うと葉先が傷むので、霜に当たらないようにします。

◆水やり

鉢土の表面が乾いてきたら、たっぷりと水を与え、ハボタンが萎れないようにします。

◆害虫の予防

気温の高い時期は、アブラムシがつきやすいので、見つけたら補殺します。予防として、浸透移行性の薬剤(アセフェート粒剤)を株元に散布します。

月
11
12
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12

葉色を美しく保つため、夜温(12~13℃)の下がる11月頃に購入する

他の花と一緒に寄せ植えにしても楽しめます



3~4月に茎が伸びて開花する

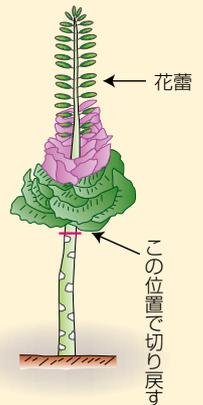
踊りハボタンを育てよう!

花を楽しんだら、次は人が手を伸ばして踊っているような風流なハボタンを育ててみましょう。

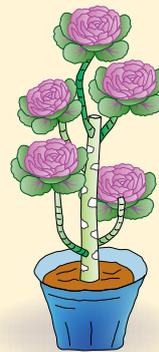


5月頃、種子の実る前に花茎を切り戻して育てる

6月頃、切り戻した株から新芽が吹いてくるので、良い芽を残して育てると1株で数本のハボタンが育ちます



踊りハボタン



枝の先にハボタンができる

編集後記 「みどりとひと」はみどりのボランティアと協働で編集しています。

- 梅里中央公園の素心蟬梅、花の名所づくりに励んだ先人の心意気が根付いていました。(中)
- 2月といえばウメの時期。花が散る様子の表現として、サクラが「散る」のに対し、ウメは「こぼれる」だそうです。まさに…ですね(羽)
- 春は黄色の花からやってくる。ソシンロウバイ、レンギョウ、サンシュユ、マンサクなどなど。色のグラデーションが楽しみです。(山)
- 草花が元気に頸を持ち上げてきました。梅の香にも誘われて、散歩の楽しみな季節になりました。(大)
- 開花待つ ソシンロウバイ じりじりと(石)
- 踊りハボタンを育てたいと思いました。(三)
- 寒い冬の間もけなげにつぼみをふくらませている草木たち…えらいですね!! 頭が下がります。(原)



みどりの新聞 みどりとひと161号 平成26年2月20日発行

編集/みどりのボランティア
編集・発行/杉並区都市整備部みどり公園課 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎03-3312-2111
「みどりとひと」は区ホームページでもご覧いただけます。http://www.city.suginami.tokyo.jp/

